

「農村歌舞伎

ぎおんざ 祇園座 公演 『神霊矢口渡』^{しんれいやぐちのわたし} を開催しました

平成23年12月11日、多目的ホールで高松市香川町の農村歌舞伎 祇園座のみなさんによる『神霊矢口渡』を開催しました。

香川県指定無形民俗文化財、高松市指定有形民俗文化財であり、「祇園座」としての公演だけでなく、地元香川第一中学校や川東小学校の子どもたちに指導するなどの取り組みが評価され、昨年、香川町農村歌舞伎保存会は日本ユネスコ協会連盟の「プロジェクト未来遺産」に認定されました。これは、四国の団体としては初めてのことだそうです。



演目は、郷土讃岐が誇る平賀 源内（ペンネーム：福内 鬼外^{ふくうち きがい}）の作。

南北朝対立のころ、足利 尊氏^{あしかが たかうじ}と新田 義興^{よしおき}との戦いが舞台。旅人が行き交う多摩川の矢口の渡りで巻き起こる一途な娘の切ない恋の物語。

歌舞伎を観るのは初めてという方から、何度も観ている歌舞伎好きの方までみなさん楽しんでいただけた様子でした。

公演の後には、希望者による歌舞伎体験もあり、歌舞伎の面白さを存分に味わえる絶好の機会となりました。

